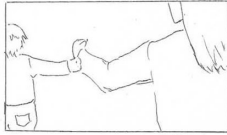


敷島住宅株式会社

「歴史が宿る」篇

小さい子が
母親の袖を引く

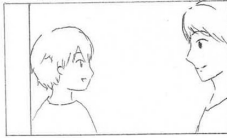


男の子
「こ、ち、ち、ち！」

柱の線と
身長を測るが
線とび、T=リ



男の子
「伸びてる？」



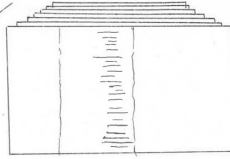
母親 「伸びてるわよ」

男の子 「や、T=あ！」

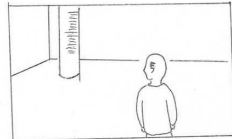
男の子走り去る

タイムラプスで
窓辺の異なる
静かな画を
重ねていく

時間が経ち、
柱に線が増えていく
途中から線は
増えなくなり、
柱が少しずつ古くなっていく



柱を懐かしそうに見る
おじいさん
ふと思いついたように
身長を再び測る

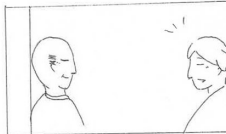


少しはにかみながら
妻(おばあさん)に
見せもらう



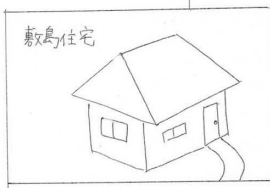
おじいさん
「縮んでないか？」

和やかな空気が



おばあさん
「縮んでないわよ」

上から撮った家



ナレーション
「家に歴史が宿る」